

案内

神学校日礼拝について

日本キリスト教団では、毎年10月の第2日曜日を伝道献身者奨励日(神学校日)として、将来牧師となってキリスト教の伝道のために献身する人々を覚え、また神学校のために祈る日としています。これに基づき、10月10日(金)と14日(火)(夕礼拝)は神学校に学んでいる方々に奨励をしていただく日としています。

オーストラリア・クリスチャンファミリー・ホームステイ・プログラム 説明会

青山キャンパス

日時 10月8日(水) 12時40分～13時10分
場所 17401教室

相模原キャンパス

日時 10月7日(火) 12時40分～13時10分
場所 B404教室

東日本大震災の被災地を覚えての祈禱会

被災された方々とそのご家族、復興のために尽力されている方々を覚え、共にお祈りください。

10月11日(土)

青山キャンパス 本部礼拝堂 12時35分～13時5分
相模原キャンパス ウェスレー・チャペル 12時40分～13時10分

第12回相模原祭 ウェスレー・チャペルでのプログラム

10月11日(土) 9時15分～9時45分	開会礼拝
11時40分～12時20分	オルガニスト養成講座受講生による演奏会
12時40分～13時10分	東日本大震災の被災地を覚えての祈禱会
14時15分～15時	青山キリスト教学生会(ACF) チャペルコンサート
16時～17時	ハンドベル・クワイア ミニコンサート
10月12日(日) 13時10分～14時	オルガニスト養成講座受講生による演奏会
15時～15時30分	青山ゴスペル・クワイア コンサート

後期チャペル・ウィーク 10月20日(月)～24日(金)

各方面で活躍されている著名なクリスチャンの方をお招きして礼拝でお話をさせていただく1週間です。礼拝時間も通常より10分延長して実施します。是非ご出席ください。

「聖書とキリスト教文化に親しむ会」参加者募集中です!

聖書を学んでみたい方、キリスト教と他の思想、文学、時事問題等との関わりに興味がある方、どうぞ気軽にご参加ください。くわしくは、各キャンパスの宗教センターにお尋ねください。

青山学院大学礼拝週報

2014.10.6.

神の国節第17週

No. 20

教会史の人々 [5]

「ジャン・カルヴァン」

Jean Calvin (1509-1564)

カルヴァンはルターに並ぶ宗教改革者であり、その改革をヨーロッパで確立した人物です。フランスに生まれ最初は法律学を学びましたが、後に神学者となり、体系的な『キリスト教綱要』という大部な書物を



キング・ジェームズ版英語聖書復刻版(宗教センター蔵)

著しました。それは現在においてもプロテスタント神学の原点とされています。

カルヴァンはスイスのジュネーブにおいて精力的な活動を展開しました。教会の「規律」を重んじ、模範的な信徒(長老)を中心とした長老主義の源流をつくりあげます。また、「信仰問答」(カテキズム)による信徒教育に力をいれました。

カルヴァンの神学の一つの大きな特徴は「予定」に関する教えです。それは救いが人間の側に根拠をもつものではなく、徹底して神の愛と恵みによるという「神の絶対的主権」の告白でした。「予定」論は人間の救いに確かさを与え、その結果としてキリスト者を生き生きとした社会生活へと押し出す力となっていきました。

今年度の主題聖句

神から受けた純真と誠実によって

(コリントの信徒への手紙 二 第1章12節)